



地域みなさんの健康維持、促進のために 看護セミナーを開催しております

VOL. 37

2019年
6月21日発行

当院の看護部は、院外活動として、地域みなさんの健康維持、促進のために「ばんたね看護セミナー」を開催しています。昨年は、新規7施設（6企業）を含む19施設で開催しました。参加者は、企業に勤めている方や親子など692名の幅広い年齢層の参加となりました。「質の良い睡眠で安心・安全を」「ストレスチェック・自分のストレスを知っていますか」「ノロウイルス感染予防」「転倒しない体を作ろう」「ベビーマッサージ」など、みなさんの要望を聞きながらさまざまなセミナーを実施しています。これからも、地域みなさんが健康で生活できるためにお役に立てるよう取り組んでいきます。関心のある方は、ぜひご要望ください。



大人気の
コースです



看護セミナーについて

- 開催場所：名古屋市内 ご希望の場所
- 時 間：約1時間
- 人 数：要相談
- 連絡先：ばんたね病院 看護部長室
052-321-8171

ご希望の方は、上記までご連絡ください



“血管外科”を知っていますか？

主な血管の病気

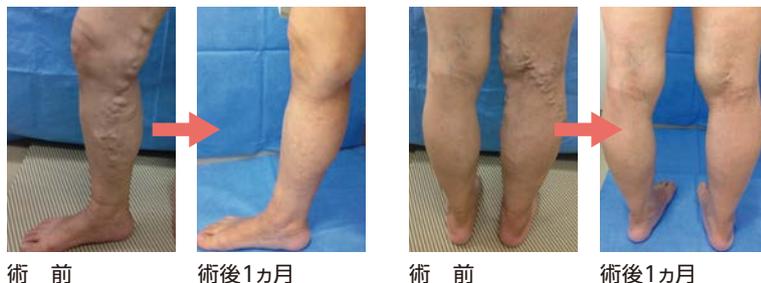
1 足のむくみ、だるさ、 皮膚に血管のポコポコはありませんか？

これは、下肢静脈瘤（かしじょうみゃくりゅう）という病気です。足の表面の血管（伏在静脈）の逆流防止弁が壊れて、血管が膨らみ、余分な血液がよどむことにより、足がむくむ、はれる、だるい、痛む、火照る、こむら返り、かゆい、茶色いシミができる、傷が治らない等の不快な症状が出てきます。

以前は、ストリッピング手術という静脈抜去術をおこなっていましたが、近年はカテーテルを使った負担の少ない治療（ラジオ波やレーザー焼灼術）を行うことが主流となり、局所麻酔・日帰り手術もできるようになってきました。

治療の前後には、弾性ストッキングを着用していただき合併症の予防を行います。

■ 下肢静脈瘤治療を受けた患者様



術前

術後1ヵ月

術前

術後1ヵ月

2 足が冷たい、歩くと足が痛くなる、 靴ずれやしもやけが治らないことはありませんか？

これは、下肢閉塞性動脈硬化症（かしへいそくせいどうみゃくこうかしょう）という病気です。動脈硬化による足の動脈の狭窄・閉塞で足先の血流が悪くなり、冷感、しびれ、痛み、傷が治らない（潰瘍）などの症状が出ます。最悪の場合には、壊死・壊疽から足の切断に至る怖い病気です。

糖尿病、高血圧症、高脂血症、喫煙、透析、高齢などによる動脈硬化が原因ですので、狭心症・心筋梗塞・脳梗塞を合併している方は足の血管にも注意が必要です。

病状に合わせて、薬物療法や運動療法、血行再建術での治療を組み合わせで行います。

早期に治療を行えばカテーテル治療など負担の少ない方法での治療が可能です。それ以上に進行している場合は、バイパス術での血行再建術、傷を閉鎖するための追加治療が必要となります。

■ 下肢閉塞性動脈硬化症



足壊疽・壊死



動脈硬化で血管が閉塞

間欠性跛行
かんけつせい
はこう



※間欠性跛行とは、間欠的に上記症状が出現したり、改善したりすることです。

“人は血管とともに老いる”といわれているように、老化と血管病の関係は深く、近年は高齢化と動脈硬化により患者さんの数が飛躍的に増えてきています。あまり聞きなれない名前ですが、欧米ではすでにメジャーな外科で、頭頸部及び胸部以外の血管病の治療を行います。当院では2名の専門医が中心となり、チーム医療で下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、腹部大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症などの血管病の診断・治療をしています。

3 大動脈瘤という病気を知っていますか？

血管の一部が瘤（コブ）のように膨らみ、正常な動脈の1.5倍以上に膨らむと動脈瘤（どうみゃくりゅう）と診断されます。大きくなって破裂するまでは症状が出ることが少なく、検診などで偶然に発見されることも多い病気です。

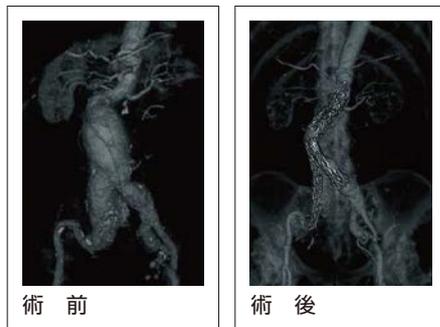
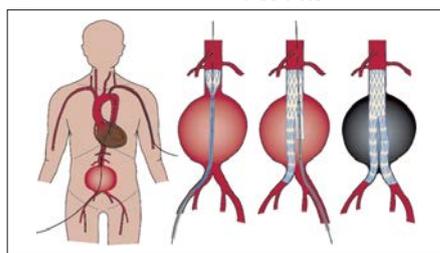
破裂した場合には、出血性ショックとなり高い確率で亡くなります。そのため破裂前に外科的治療を行う必要があります。腹部大動脈瘤では5cm前後で手術を行います。

治療は、ステントグラフト内挿術（カテーテルによるバネ付き人工血管挿入術）または、開腹人工血管置換術により、破裂予防のための治療を行います。

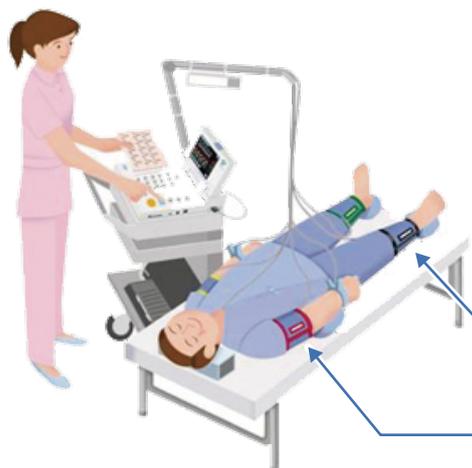
■ 腹部大動脈瘤



■ ステントグラフト内挿術



血管病の検査は何をするの？



ABI検査 (血管のつまり)

外来では、まずは体の負担の少ない検査を行います。ABI（血管年齢）検査、動脈・静脈超音波（エコー）検査、CT・MRI検査、採血検査などを組み合わせて診断を行います。また全身の血管を対象とするため、他の診療科とも協力して検査・治療を行います。

$$\frac{\text{下肢血圧}}{\text{上肢血圧}} = 0.9 \sim 1.4 \text{ (正常範囲)}$$

検査時間約5分

ABI ≤ 0.9: 末梢動脈の狭窄・閉塞 ABI ≥ 1.4: 高度の動脈硬化

その他多くの血管病を扱っていますが、治療方法の進歩により、以前よりも身体に負担の少ない治療が行われるようになってきています。当院でも積極的に体に優しい治療を心がけ、女性の方にも安心して治療を受けただけのよう女性医師も在籍しておりますので、気になる症状があれば、ぜひ血管外科外来を受診していただきたいと思ひます。



第60回 市民公開講座

带状疱疹でも慌てないで!!

どうして带状疱疹になるの? どんなときになるの?

皮膚はどうなるの? 痛いんでしょう?

带状疱疹のあれこれ、みなさんで学びましょう。

事前
予約制

入場
無料

セミナー内容 ・带状疱疹の基礎知識 ・治療内容 ・質疑応答

日時

2019年 **7月13日(土)** 午後2時~3時
(午後1時15分受付開始)

会場

藤田医科大学ばんだね病院 第一会議室(西棟5階)

- 公共交通機関でお越しの方
JR・市バス・三重交通バスの各駅・停留所(尾頭橋)より徒歩5分
- 車でお越しの方
病院有料駐車場あり(タワー駐車場72台、第一駐車場20台、第二駐車場15台)

講師

皮膚科助教 **白田 千穂**



带状疱疹(たいじょうほうしん)、一度は耳にしたことのあるかたが多いと思います。带状疱疹は、ストレス、加齢、疲労など、誰にでもみられるごく日常的なことによって免疫力が低下したときにおこります。からだの中に潜んでいた水ぼうそうのウイルスが暴れだし、チクチク、ピリピリとした痛みとともに皮膚があかくなり、水ぶくれができます。皮膚の症状が治ったあとも痛みが残ってしまうこともあります。

日本では、80歳までに約3人に1人が带状疱疹になるといわれています。あなたもある日突然、なるかもしれません!一緒に带状疱疹について学びましょう。

ご予約はFAXをお送りください

FAX申込用紙は、ばんだね病院ホームページよりダウンロードできます。

FAX : **052-322-4734**

お問い合わせ TEL:052-323-5699 ばんだね病院 総務課 鶴田、医事課 成田

藤田医科大学ばんだね病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL

〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10号

TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

QRコードで今すぐアクセス

ばんだね

検索

